

学校 教育 目標	自ら学び たくましく 心豊かな子 【知】主体的に学び、自分の見方考え方を生かしながら課題解決しようとする子を育てます。 【徳】人を思いやる心を大切に、自他の人権を尊重して行動する子を育てます。 【体】よりよい生活習慣を身に付け、健やかな身体をつくらうとする子を育てます。 【公】地域の自然や社会から学び、積極的にかかわろうとする子を育てます。 【開】グローバルな視野をもち、多様性を尊重し共生しようとする子を育てます。			
	学校 概要	創立 78 周年 児童生徒数: 811 人	学校長 岡 カズミ 副校長 三木 雄太 主な関係校: 田奈中学校・長津田第二小学校・いぶき野小学校	2 学期制 一般学級: 25 個別支援学級: 4

教育課程全体で 育成を目指す資質・能力	田奈中 ブロック	小中一貫教育推進ブロックにおける 育成を目指す資質・能力を踏まえた 「9年間で育てる子ども像」と具体的取組
<言語能力> <自分づくりに関する力>	田奈中学校 長津田小学校 長津田第二小学校 いぶき野小学校	○自ら学び、活用・探求し、未来を拓く知を創造する子ども ○道徳的に自立し、よりよく生きていこうとする子ども ○自他の生命を尊重し、健康でたくましく生きていく子ども ○地域の人・社会・自然に学び、愛し、貢献していこうとする子ども  ・小中ブロックにおける授業交流 ・小中ブロックにおける教職員研修 ・小中合同での行事の推進

中期 取組 目標	○対話を大切に、主体的に課題を解決する子どもを育みます。 ・一人ひとりの子どもが学習の楽しさを実感し、自分の見方・考え方を生かしながら課題解決に取り組むことができる授業づくりを推進します。 ・人とのかかわりの中で、互いを認め、思いを伝えあうことのできる豊かな人間関係力の向上を図ります。 ・地域の教育資源を生かし、協働して課題解決する力やコミュニケーション力を高めます。 ・教職員間の連携や相互啓発を促進し、学校教育目標の実現に向けて活力ある組織的な取組を行います。
----------------	---

重点取組分野	具体的取組
知 授業改善	①重点研究では主体的な学びの実現に向けて子どもが自ら問いを見つけられるような授業を目指して、算数科を中心に授業改善を図る。②ゴールの姿を子どもの具体的な姿で描く授業を実践することで個々の子どもの躰ぎや成長を見取り丁寧な支援を行う。
担当 重点研推進委員会	
徳 人権教育	①マスク生活から解放され、相手に伝わる気持ちの良い挨拶が校外外でできるようにさらに支援していく。②毎月1日の「長津田ピンクシャツデー」の取組を通して人権意識の向上を目指す。③個別支援級や特別支援教室等の理解を深めるために年度当初に発達段階に合わせて紹介をする。
担当 人権委員会	
体 健康教育	①縄跳びへの継続的な取組を通して健康的な体の育成を図る。②歯の保健指導や「すくすくタイム」等を通して養護教諭・栄養職員を中心に全教職員で保健指導、食育指導を実践する。③休み時間の校庭開放を全面的に実施し、安全に楽しく体を動かすことができるようにする。
担当 体育部・学校保健食育推進	
公開 自分づくり教育	①総合的な学習の時間を軸に地域の材と学習を結び付けていくカリキュラム作りに取り組む。②「自分づくりパスポート」の活用の仕方を再確認し、自らの学習状況やキャリア形成を見通したり、振り返ったりして、子ども自身の変容や成長を自己評価できるようにする。
担当 生活総合	
いじめへの対応	①年4回の児童アンケートと担任と児童の個人面談を通して些細な変化も見逃さない体制を確立する。②月1回の定例会のほか、随時必要に応じていじめ防止対策委員会を実施し、認知したいじめ案件をしっかりと管理し、継続的に状況を把握し、学校全体の案件として解消に向けて取り組む。③いじめを起こさない風土づくりのために子どもと教職員の人権意識の向上を図る。
担当 児童指導特別支援	
人材育成・組織運営(働き方)	①5年次以下の職員を中心にメンターチームを組織し、ミドルリーダーが講師となって月1回の活動を継続して行う。②週に1回、教務会及び学年主任会を行い、ミドルリーダー等が全体を見通して学校運営をしていく場を設定する。③ICTを活用した事務の効率化や情報の共有化を図るとともに、全職員の組織的な働き方改革につなげる。
担当 教務部・メンターチーム	
特別支援教育	①一般学級と個別支援学級の連携強化に向けて一人ひとりの特性の理解を深めるための教職員のためのオープンディや研修を積極的に行う。②授業に参加できない状況の子ども視点の大切にし、ユニバーサルデザインや特別支援教室について理解を深め、誰一人取り残さない支援体制づくりに取り組む。③支援や環境改善のスキルアップを教職員全体で取り組む。
担当 児童指導特別支援	
児童指導	①「長津田小学校ガイド」を見直し家庭・子ども・学校の3者が共通理解をした上で、丁寧な指導をする。②「Y-Pアセスメント」を活用し、多面的な児童理解と具体的な支援・指導を実践する。③不登校や渋り傾向を長期化させないための初期対応マニュアルを教職員で共有し、家庭へのこまめな連絡、学習の支援を行い学びの継続化を図る。
担当 児童指導特別支援	
地域学校連携	①地域の方々による下校時の見守り活動について、学校だよりや地域紹介等を通して児童・保護者へ理解を深める。②田奈中ブロック学校運営協議会において経営方針や行事、学校評価等について協議し、内容を発信する。③ホームページの充実を図り、教育活動の情報を積極的に発信していく。
担当 地域連携	
担当	b10